

平成23年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年11月9日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 サン・ライフ
 コード番号 4656 URL <http://www.sunlife.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役業務支援本部長
 四半期報告書提出予定日 平成22年11月12日

(氏名) 比企 武
 (氏名) 石野 寛
 配当支払開始予定日

TEL 0463-22-1233
 平成22年11月30日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第2四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第2四半期	5,082	2.2	402	50.6	441	25.3	201	22.7
22年3月期第2四半期	4,974	2.9	267	—	352	—	164	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第2四半期	31.73	—
22年3月期第2四半期	25.47	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第2四半期	34,411	3,443	10.0	544.50
22年3月期	34,911	3,423	9.8	534.64

(参考) 自己資本 23年3月期第2四半期 3,443百万円 22年3月期 3,423百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	15.00	—	15.00	30.00
23年3月期	—	15.00	—	—	—
23年3月期(予想)	—	—	—	15.00	30.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,000	3.2	960	3.9	1,100	7.3	550	15.0	85.47

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.4「その他」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

新規 一社（社名

）、除外 一社（社名

）

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む） 23年3月期2Q 6,820,000株 22年3月期 6,820,000株

② 期末自己株式数 23年3月期2Q 496,778株 22年3月期 416,200株

③ 期中平均株式数（四半期累計） 23年3月期2Q 6,351,097株 22年3月期2Q 6,449,279株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	4
(1) 重要な子会社の異動の概要	4
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	4
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	4
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書	7
【第2四半期連結累計期間】	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間売上高は前年同期比2.2%増の5,082百万円となりました。

ホテル事業は、婚礼施行組数の減少により売上高は前年同期比8.1%減の1,505百万円となりました。

式典事業は、5月にオープンした海老名セレモニーホールの順調な稼働、継続的なご葬儀勉強会、生前相談会等を行った結果、葬儀施行件数が増加し、売上高は前年同期比6.7%増の3,287百万円となりました。

その他の事業は、有料老人ホーム「サンガーデン湘南」の入居者増加もあり、前年同期比13.3%増の289百万円となりました。

営業費用は、全社的な人員配置の効率化、仕入原価の低減により、前年同期比0.6%減の4,679百万円となりました。

これらの結果、営業利益は前年同期比50.6%増の402百万円、経常利益は前年同期比25.3%増の441百万円、四半期純利益は前年同期比22.7%増の201百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期末の総資産は34,411百万円となりました。

(資産)

当第2四半期末の資産は、前連結会計年度末に比べ500百万円減少し、34,411百万円となりました。これは、現金及び預金の増加等による流動資産の増加1,334百万円、のれんの償却等による無形固定資産の減少135百万円、供託金の取り崩し等による投資その他の資産の減少1,676百万円によるものです。

(負債)

当第2四半期末における負債は、前連結会計年度末に比べ519百万円減少し、30,968百万円となりました。これは、買掛金の減少116百万円、未払金の減少189百万円、未払法人税等の減少252百万円等によるものです。

(純資産)

当第2四半期末における純資産は、前連結会計年度末に比べ19百万円増加し、3,443百万円となりました。これは、利益剰余金が四半期純利益の計上により201百万円増加した一方で配当金の計上により96百万円減少するなど、結果として105百万円増加したとともに、自己株式の購入により71百万円減少し、その他有価証券評価差額金の減少14百万円によるものです。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期末の現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の残高は、前連結会計年度末に比べ1,634百万円増加し、7,023百万円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において営業活動の結果得られた資金は229百万円となりました。これは、税金等調整前四半期純利益388百万円、減価償却費350百万円を計上した一方、法人税等支払額379百万円が発生したことが主たる要因であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において投資活動の結果得られた資金は1,573百万円となりました。これは、供託金の返還による収入1,070百万円、定期預金の払戻による収入500百万円、投資有価証券の売却による収入443百万円、投資有価証券の償還による収入194百万円が発生した一方、有形固定資産の取得による支出300百万円、投資有価証券の取得による支出314百万円が発生したことが主たる要因であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において財務活動の結果支出した資金は168百万円となりました。これは、配当金の支払額95百万円及び自己株式の取得71百万円が発生したことが主たる要因であります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第2四半期の業績につきましては、平成22年11月5日に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」の通りであります。尚、通期連結業績予想は、第3四半期以降の景気の不透明感から、そのまま据え置くことといたします。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

(簡便な会計処理)

① 一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第2四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積額を算定しております。

② たな卸資産の評価方法

たな卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

③ 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

④ 繰延税金資産の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、且つ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理)

該当事項はありません。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

1. 会計処理基準に関する事項の変更

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

これにより、営業利益、経常利益がそれぞれ868千円、税金等調整前四半期純利益は16,371千円減少しております。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は27,834千円であります。

2. 表示方法の変更

「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成20年12月26日)に基づく「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等」の一部を改正する内閣府令(平成21年3月24日 内閣府令第5号)の適用により、当第2四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純利益」の科目を表示しております。

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,823,386	5,218,437
売掛金	345,653	350,805
有価証券	625,929	498,845
商品及び製品	39,522	31,390
原材料及び貯蔵品	58,079	58,348
その他	283,896	683,641
流動資産合計	8,176,467	6,841,468
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,111,975	7,114,263
土地	9,435,345	9,435,345
その他(純額)	597,343	618,189
有形固定資産合計	17,144,665	17,167,799
無形固定資産		
のれん	1,710,800	1,827,445
その他	447,012	465,473
無形固定資産合計	2,157,812	2,292,918
投資その他の資産		
供託金	2,104,665	3,174,665
その他	4,885,514	5,492,369
貸倒引当金	△66,266	△66,951
投資その他の資産合計	6,923,912	8,600,083
固定資産合計	26,226,391	28,060,801
繰延資産		
開業費	8,259	9,439
繰延資産合計	8,259	9,439
資産合計	34,411,118	34,911,709

(単位:千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	474,268	590,552
未払金	243,899	433,099
未払法人税等	144,237	396,339
引当金	194,621	160,600
その他	662,919	622,851
流動負債合計	1,719,945	2,203,443
固定負債		
前払式特定取引前受金	28,555,509	28,654,609
引当金	220,698	211,114
その他	471,944	418,757
固定負債合計	29,248,151	29,284,481
負債合計	30,968,097	31,487,924
純資産の部		
株主資本		
資本金	610,000	610,000
資本剰余金	236,733	236,733
利益剰余金	3,145,206	3,039,730
自己株式	△480,017	△408,124
株主資本合計	3,511,922	3,478,339
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△68,902	△54,554
評価・換算差額等合計	△68,902	△54,554
純資産合計	3,443,020	3,423,784
負債純資産合計	34,411,118	34,911,709

(2) 四半期連結損益計算書

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
売上高	4,974,955	5,082,253
売上原価	3,801,596	3,796,228
売上総利益	1,173,359	1,286,025
販売費及び一般管理費	906,177	883,659
営業利益	267,181	402,365
営業外収益		
受取配当金	23,065	9,825
前受金月掛中断収入	48,720	35,240
不動産賃貸収入	11,724	7,862
投資有価証券売却益	10,247	2,482
その他	29,690	46,482
営業外収益合計	123,448	101,893
営業外費用		
不動産賃貸費用	12,715	7,222
投資有価証券売却損	—	9,595
前受金復活損失引当金繰入額	23,422	29,207
その他	1,777	16,237
営業外費用合計	37,915	62,263
経常利益	352,714	441,996
特別損失		
固定資産除売却損	12,892	10,868
投資有価証券評価損	21,802	27,582
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	15,503
特別損失合計	34,694	53,954
税金等調整前四半期純利益	318,020	388,041
法人税、住民税及び事業税	135,915	137,619
法人税等調整額	17,832	48,888
法人税等合計	153,747	186,507
少数株主損益調整前四半期純利益	—	201,533
四半期純利益	164,272	201,533

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	318,020	388,041
減価償却費	394,382	350,791
のれん償却額	116,645	116,645
退職給付引当金の増減額(△は減少)	2,632	8,265
長期未払金の増減額(△は減少)	△8,834	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△2,706	△685
賞与引当金の増減額(△は減少)	49,821	14,021
前受金復活損失引当金の増減額(△は減少)	4,744	1,318
投資有価証券償還損益(△は益)	—	△6,561
投資有価証券売却損益(△は益)	△9,763	7,112
投資有価証券評価損益(△は益)	21,802	27,582
受取利息及び受取配当金	△32,149	△27,635
有形固定資産除売却損益(△は益)	12,892	10,868
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	15,503
売上債権の増減額(△は増加)	23,596	5,152
たな卸資産の増減額(△は増加)	6,712	△7,862
仕入債務の増減額(△は減少)	△52,477	△116,283
未払金の増減額(△は減少)	△31,406	△186,979
前払式特定取引前受金の増減額(△は減少)	△62,380	△99,100
保証金の増減額(△は減少)	△83,357	△630
破産更生債権等の増減額(△は増加)	2,706	685
その他の流動資産の増減額(△は増加)	68,201	△1,095
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△30,885	55,562
その他	△10,285	3,991
小計	697,911	558,707
利息及び配当金の受取額	30,999	33,779
法人税等の支払額	△24,659	△379,518
法人税等の還付額	107,255	16,378
営業活動によるキャッシュ・フロー	811,506	229,347

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	—	500,000
有形及び無形固定資産の取得による支出	△1,133,751	△300,960
有形及び無形固定資産の除却による支出	△951	△10,695
投資有価証券の取得による支出	△899,957	△314,409
投資有価証券の売却による収入	44,497	443,096
投資有価証券の償還による収入	200,000	194,640
供託金の返還による収入	1,200,000	1,070,000
貸付けによる支出	—	△15,553
貸付金の回収による収入	3,831	14,409
その他	—	△6,850
投資活動によるキャッシュ・フロー	△586,331	1,573,677
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△96,005	△95,902
自己株式の取得による支出	△28,725	△71,893
その他	—	△498
財務活動によるキャッシュ・フロー	△124,731	△168,295
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	100,443	1,634,729
現金及び現金同等物の期首残高	4,285,975	5,389,235
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,386,419	7,023,964

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)

	ホテル事業 (千円)	式典事業 (千円)	その他の事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に 対する売上高	1,638,409	3,080,800	255,745	4,974,955	—	4,974,955
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	36,149	—	373,485	409,635	(409,635)	—
計	1,674,558	3,080,800	629,231	5,384,590	(409,635)	4,974,955
営業利益又は営業損失(△)	104,076	606,612	△28,417	682,271	△415,089	267,181

(注) 1. 事業区分は、売上の集計区分によっております。

2. 各事業区分に含まれる主な営業店舗、事業等

(1) ホテル事業……ホテルサンライフガーデン、八王子ホテルニューグランド、ザ・ウイングス

(2) 式典事業……斎場 平塚斎場、伊勢原総合ホール、西湘ホール、小田原式典総合ホール、しづさわホール、サン・ライフ サカエヤ・ホール、相模斎場、大和総合ホール、橋本総合ホール、相模原会館、町田総合ホール、座間ホール、八王子総合ホール、南多摩総合ホール、高倉総合ホール、八王子南口総合ホール
仏壇店 サカエヤ仏壇店、サカエヤ仏壇店相模原店、サカエヤ仏壇店八王子店
エンバーミング(ご遺体衛生保全)

(3) その他の事業…介護事業、互助会会員募集、婚礼葬儀施行斡旋事業、ファイナンシャル・サポート・サービス、有料老人ホーム事業他

【セグメント情報】

(追加情報)

第1四半期連結会計期間より「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しております。

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、取扱うサービス別に包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しており、これらを基礎とした事業の種類別かつエリア別セグメントから構成され、経済的特徴の類似性等を勘案し、事業セグメントを集約した「ホテル事業」、「式典事業」の2つを報告セグメントとしております。

「ホテル事業」は、ご婚礼、ご宴会及びご宿泊のサービスを行っております。「式典事業」は、ご葬儀、ご法要、エンバーミング(ご遺体衛生保全)のサービス及び仏壇店の運営を行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額
	ホテル事業	式典事業	計				
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	1,505,563	3,287,037	4,792,601	289,652	5,082,253	—	5,082,253
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	39,618	—	39,618	9,401	49,020	(49,020)	—
計	1,545,182	3,287,037	4,832,219	299,054	5,131,273	(49,020)	5,082,253
セグメント利益又はセグ メント損失(△)	△9,481	782,138	772,657	27,976	800,634	△398,268	402,365

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、介護事業、ファイナンシャル・サポート・サービス、有料老人ホーム事業、少額短期保険業他が含まれております。

2 セグメント利益の調整額△398,268千円には、セグメント間取引消去22,019千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△420,288千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。